

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)

【公表番号】特表 2007-509430 (P2007-509430A)
 【公表日】平成 19 年 4 月 12 日 (2007.4.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-014
 【出願番号】特願 2006-536599 (P2006-536599)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 3 2 0 B

G 0 6 F 17/30 1 7 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 26 日 (2007.7.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 つまたは複数の他のコンピュータシステムと共にネットワークにネットワーク接続可能なコンピュータシステムにおいて、提示されたメッセージ関連データによって効率よくアクセスできるように共通のメッセージングインターフェースでメッセージ関連データを提示する方法であって、

メッセージ関連クエリのクエリ基準を前記共通のメッセージングインターフェースで受信する動作と、

前記クエリ基準に従って項目データベースにメッセージ関連クエリを送出する動作と、

メッセージ関連データの少なくとも第 1 の部分、および第 2 の異なるメッセージ拡張スキーマに従って定義されたメッセージ関連データの少なくとも第 2 の部分を含むメッセージ関連データの複数の部分であって、前記メッセージ関連データの第 1 の部分は前記メッセージ関連データの第 2 の部分の 1 つまたは複数のプロパティフィールドとは異なるように第 1 のメッセージ拡張スキーマに従って定義された 1 つまたは複数のプロパティフィールドを有し、前記メッセージ関連データの第 1 の部分、および前記メッセージ関連データの第 2 の部分はメッセージスキーマに従って定義された 1 つまたは複数の共通プロパティフィールドも有する、前記クエリ基準を満たすメッセージ関連データの複数の部分を受信する動作と、

1 つまたは複数の異なるように定義されたプロパティフィールドを有するメッセージ関連データの異なる部分が共に表示されるように、メッセージ関連データの前記受信された部分の各々への少なくともリンクを前記共通のメッセージングインターフェースで表示する動作と

を備えたことを特徴とする方法。

【請求項 2】

メッセージ関連クエリのクエリ基準を受信する前記動作は、複数のフォルダにまたがるメッセージ関連クエリのクエリ基準を受信する動作を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記メッセージ関連クエリのクエリ基準を受信する動作は、指定された文書に関連付けら

れているメッセージ関連データについてクエリを行うためのクエリ基準を受信する動作を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記メッセージ関連クエリのクエリ基準を受信する動作は、指定された参加者に関連付けられているメッセージ関連データについてクエリを行うためのクエリ基準を受信する動作を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記メッセージ関連クエリのクエリ基準を受信する動作は、指定された件名に関連付けられているメッセージ関連データについてクエリを行うためのクエリ基準を受信する動作を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記メッセージ関連クエリのクエリ基準を受信する動作は、電子メッセージの 1 つまたは複数のプロパティフィールドに含まれているメッセージ関連データについてクエリを行うためのクエリ基準を受信する動作を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記電子メッセージの 1 つまたは複数のプロパティフィールドに含まれているメッセージ関連データについてクエリを行うためのクエリ基準を受信する動作は、異なる種類の複数の電子メッセージに共通の、メッセージスキーマに従って定義される 1 つまたは複数の共通プロパティフィールドに含まれているメッセージ関連データについてクエリを行うためのクエリ基準を受信する動作を含むことを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記異なる種類の複数の電子メッセージに共通の 1 つまたは複数の共通プロパティフィールドに含まれているメッセージ関連データについてクエリを行うためのクエリ基準を受信する動作は、前記項目データベースに格納されている少なくとも電子メールメッセージ、インスタントメッセージ、音声メールメッセージ、ファックスメッセージ、ニュースグループ投稿、およびブログエントリに共通の 1 つまたは複数の共通プロパティフィールドに含まれているメッセージ関連データについてクエリを行うためのクエリ基準を受信する動作を含むことを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記メッセージ関連クエリのクエリ基準を受信する動作は、電子メッセージの 1 つまたは複数のプロパティフィールドを表すリンクのユーザ選択の結果としてクエリ基準を受信する動作を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記メッセージ関連クエリを項目データベースに送出する動作は、複数のフォルダにまたがるメッセージ関連データについてのメッセージ関連クエリを送出する動作を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記メッセージ関連クエリを項目データベースに送出する動作は、指定された文書に関連付けられているメッセージ関連データについてのメッセージ関連クエリを送出する動作を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

前記メッセージ関連クエリを項目データベースに送出する動作は、指定された参加者に関連付けられているメッセージ関連データについてのメッセージ関連クエリを送出する動作を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

前記メッセージ関連クエリを項目データベースに送出する動作は、指定された件名に関連付けられているメッセージ関連データについてのメッセージ関連クエリを送出する動作を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】

前記メッセージ関連クエリを項目データベースに送出する動作は、電子メッセージの 1

つまたは複数のプロパティフィールドに含まれているメッセージ関連データについてのメッセージ関連クエリを送出する動作を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 15】

前記電子メッセージの 1 つまたは複数のプロパティフィールドに含まれているメッセージ関連データについてのメッセージ関連クエリを送出する動作は、異なる種類の複数の電子メッセージに共通の、メッセージスキーマに従って定義される 1 つまたは複数の共通プロパティフィールドに含まれているメッセージ関連データについてのメッセージ関連クエリを送出する動作を含むことを特徴とする請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】

前記異なる種類の複数の電子メッセージに共通の 1 つまたは複数の共通プロパティフィールドに含まれているメッセージ関連データについてのメッセージ関連クエリを送出する動作は、前記項目データベースに格納されている少なくとも電子メールメッセージ、インスタントメッセージ、音声メールメッセージ、ファックスメッセージ、ニュースグループ投稿、およびブログエントリに共通の 1 つまたは複数の共通プロパティフィールドに含まれているメッセージ関連データについてのクエリを送出する動作を含むことを特徴とする請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

前記共通のメッセージングインターフェースでメッセージ関連データの前記受信した部分のそれぞれへの少なくともリンクを表示する動作は、前記共通のメッセージングインターフェースで同じ見出し下の同じ参加者に対応する異なるアカウントに関連付けられているメッセージ関連データを表示する動作を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 18】

前記共通のメッセージングインターフェースでメッセージ関連データの前記受信した部分のそれぞれへの少なくともリンクを表示する動作は、複数の異なるグループ内のメッセージ関連データの一部を表示する動作を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 19】

前記共通のメッセージングインターフェースでメッセージ関連データの前記受信した部分のそれぞれへの少なくともリンクを表示する動作は、前記共通のメッセージングインターフェースで共通の、しかし個別のプロパティの統合されたビューを提示するようにメッセージ内容の 1 つまたは複数の部分の前記共通の、しかし個別のプロパティを統合する動作を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 20】

前記共通のメッセージングインターフェースで共通の、しかし個別のプロパティの統合されたビューを提示するようにメッセージ関連内容の 1 つまたは複数の部分の前記共通の、しかし個別のプロパティを統合する動作は、電子メッセージ関連データの部分の To、From、Cc、および Bcc のプロパティを、インスタントメッセージ関連データの部分の参加者プロパティ、音声メッセージ関連データの部分の発呼者プロパティ、ファックスメッセージ関連データの作成者プロパティと共に、前記共通のメッセージングインターフェースで参加者列に表示されるように統合する動作を含むことを特徴とする請求項 19 に記載の方法。

【請求項 21】

電子メッセージデータの一部の生成に使用された機構以外の機構を介して電子メッセージデータの前記一部への応答を容易にするインターフェースを提示する動作をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 22】

前記電子メッセージデータの一部の生成に使用された機構以外の機構を介して電子メッセージデータの前記一部への応答を容易にするインターフェースを提示する動作は、インスタントメッセージ、ファックスメッセージ、音声メッセージ、およびニュースグループ投稿のうちの 1 つまたは複数を使用して電子メールメッセージへの応答を容易にするインターフェースを提示する動作を含むことを特徴とする請求項 21 に記載の方法。

【請求項 2 3】

1 つまたは複数の他のコンピュータシステムと共にネットワークにネットワーク接続可能なコンピュータシステムにおいて、提示されたメッセージ関連データにより効率よくアクセスできるように共通のメッセージングインターフェースにおいて提示されるメッセージ関連データを戻す方法であって、

クエリ側コンピュータシステムからクエリ基準を含むメッセージ関連クエリを受信する動作と、

メッセージ関連データの複数の部分を格納する項目データベースであって、メッセージ関連データの前記複数の部分はメッセージ関連データの少なくとも第 1 の部分、および第 2 の異なるメッセージ拡張スキーマに従って定義されたメッセージ関連データの少なくとも第 2 の部分を含み、前記メッセージ関連データの第 1 の部分は前記メッセージ関連データの第 2 の部分の 1 つまたは複数のプロパティフィールドとは異なるように第 1 のメッセージ拡張スキーマに従って定義された 1 つまたは複数のプロパティフィールドを有し、前記メッセージ関連データの第 1 の部分、および前記メッセージ関連データの第 2 の部分はメッセージスキーマに従って定義された 1 つまたは複数の共通プロパティフィールドも有する、項目データベースにアクセスする動作と、

前記メッセージ関連クエリの前記クエリ基準を満たす前記メッセージデータベースに含まれているメッセージ関連データの複数の部分を識別する動作であって、メッセージ関連データの少なくとも 1 つの識別された部分がメッセージ関連データの少なくとも 1 つの他の識別された部分とは異なるように定義された 1 つまたは複数のプロパティフィールドを有する動作と、

メッセージ関連データの前記複数の部分を前記クエリ側コンピュータシステムに戻す動作と

を備えたことを特徴とする方法。

【請求項 2 4】

前記メッセージ関連クエリをクエリ側コンピュータシステムから受信する動作は、複数のフォルダにまたがるメッセージ関連データについてのメッセージ関連クエリを受信する動作を含むことを特徴とする請求項 2 3 に記載の方法。

【請求項 2 5】

前記メッセージ関連クエリをクエリ側コンピュータシステムから受信する動作は、指定された文書に関連付けられているメッセージ関連データについてのメッセージ関連クエリを受信する動作を含むことを特徴とする請求項 2 3 に記載の方法。

【請求項 2 6】

前記メッセージ関連クエリをクエリ側コンピュータシステムから受信する動作は、指定された参加者に関連付けられているメッセージ関連データについてのメッセージ関連クエリを受信する動作を含むことを特徴とする請求項 2 3 に記載の方法。

【請求項 2 7】

前記メッセージ関連クエリをクエリ側コンピュータシステムから受信する動作は、指定された件名に関連付けられているメッセージ関連データについてのメッセージ関連クエリを受信する動作を含むことを特徴とする請求項 2 3 に記載の方法。

【請求項 2 8】

前記メッセージ関連クエリをクエリ側コンピュータシステムから受信する動作は、電子メッセージの 1 つまたは複数のプロパティフィールドに含まれているメッセージ関連データについてのメッセージ関連クエリを受信する動作を含むことを特徴とする請求項 2 3 に記載の方法。

【請求項 2 9】

前記電子メッセージの 1 つまたは複数のプロパティフィールドに含まれているメッセージ関連データについてのメッセージ関連クエリを受信する動作は、異なる種類の複数の電子メッセージに共通の、メッセージスキーマに従って定義される 1 つまたは複数の共通プロパティフィールドに含まれているメッセージ関連データについてのメッセージ関連クエ

リを受信する動作を含むことを特徴とする請求項 28 に記載の方法。

【請求項 30】

前記異なる種類の複数の電子メッセージに共通の 1 つまたは複数の共通プロパティフィールドに含まれているメッセージ関連データについてのメッセージ関連クエリを受信する動作は、前記項目データベースに格納されている少なくとも電子メールメッセージ、インスタントメッセージ、音声メールメッセージ、ファックスメッセージ、およびニュースグループ投稿に共通の 1 つまたは複数の共通プロパティフィールドに含まれているメッセージ関連データについてのクエリを受信する動作を含むことを特徴とする請求項 29 に記載の方法。

【請求項 31】

1 つまたは複数の他のコンピュータシステムと共にネットワークにネットワーク接続可能なコンピュータシステムで使用し、提示されたメッセージ関連データにより効率よくアクセスできるように共通のメッセージングインターフェースでメッセージ関連データを提示する方法を実施し、プロセッサによって実行されると、コンピュータシステムに、

メッセージ関連クエリのクエリ基準を前記共通のメッセージングインターフェースで受信させ、

前記クエリ基準に従って項目データベースにメッセージ関連クエリを送出させ、

メッセージ関連データの少なくとも第 1 の部分、および第 2 の異なるメッセージ拡張スキーマに従って定義されたメッセージ関連データの少なくとも第 2 の部分を含むメッセージ関連データの複数の部分であって、前記メッセージ関連データの第 1 の部分は前記メッセージ関連データの第 2 の部分の 1 つまたは複数のプロパティフィールドとは異なるように第 1 のメッセージ拡張スキーマに従って定義された 1 つまたは複数のプロパティフィールドを有し、前記メッセージ関連データの第 1 の部分、および前記メッセージ関連データの第 2 の部分はメッセージスキーマに従って定義された 1 つまたは複数の共通プロパティフィールドも有する、前記クエリ基準を満たすメッセージ関連データの複数の部分を受信させ、

1 つまたは複数の異なるように定義されたプロパティフィールドを有するメッセージ関連データの異なる部分が共に表示されるように、メッセージ関連データの前記受信された部分のそれぞれへの少なくともリンクを前記共通のメッセージングインターフェースで表示させる

コンピュータ実行可能命令を格納する 1 つまたは複数のコンピュータ読取可能な媒体を含むことを特徴とするコンピュータプログラム製品。

【請求項 32】

1 つまたは複数の他のコンピュータシステムと共にネットワークにネットワーク接続可能なコンピュータシステムで使用し、提示されたメッセージ関連データにより効率よくアクセスできるように共通のメッセージングインターフェースで提示されるメッセージ関連データを戻す方法を実施し、プロセッサによって実行されると、コンピュータシステムに、

クエリ側コンピュータシステムからクエリ基準を含むメッセージ関連クエリを受信させ、

メッセージ関連データの複数の部分を格納する項目データベースであって、メッセージ関連データの前記複数の部分はメッセージ関連データの少なくとも第 1 の部分、および第 2 の異なるメッセージ拡張スキーマに従って定義されたメッセージ関連データの少なくとも第 2 の部分を含み、前記メッセージ関連データの第 1 の部分は前記メッセージ関連データの第 2 の部分の 1 つまたは複数のプロパティフィールドとは異なるように第 1 のメッセージ拡張スキーマに従って定義された 1 つまたは複数のプロパティフィールドを有し、前記メッセージ関連データの第 1 の部分、および前記メッセージ関連データの第 2 の部分はメッセージスキーマに従って定義された 1 つまたは複数の共通プロパティフィールドも有する、項目データベースにアクセスさせ、

前記メッセージ関連クエリの前記クエリ基準を満たす前記メッセージデータベースに含

まれているメッセージ関連データの複数の部分を識別させるが、メッセージ関連データの少なくとも1つの識別された部分はメッセージ関連データの少なくとも1つの他の識別された部分とは異なるように定義された1つまたは複数のプロパティフィールドを有しており、

メッセージ関連データの前記複数の部分を前記クエリ側コンピュータシステムに戻させる

コンピュータ実行可能命令を格納する1つまたは複数のコンピュータ読取可能な媒体を含むことを特徴とするコンピュータプログラム製品。